

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2017年7月31日

【2017年7月22日～2017年7月28日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週レアルは、対円、対米ドルともにはほぼ変わらずとなりました。2年国債金利は低下しました。

中央銀行は7月26日（現地）、政策金利を1.00%ポイント引き下げ、9.25%とすることを決定しました。インフレ率（前年比）が中央銀行のインフレ目標の範囲（3%～6%）の下限近辺と、物価の伸び率が落ち着いてきていることが利下げの背景です。利下げの決定は全会一致で行われました。利下げ幅は市場予想通りでしたが、声明文の内容がよりハト派だったため、金利は低下しました。

議会が休会となっているため、政治関連のヘッドラインは限定的でした。政府は、財政目標を達成するため各種歳入拡大策を打ち出していますが、今年度の目標の達成は困難とみられています。

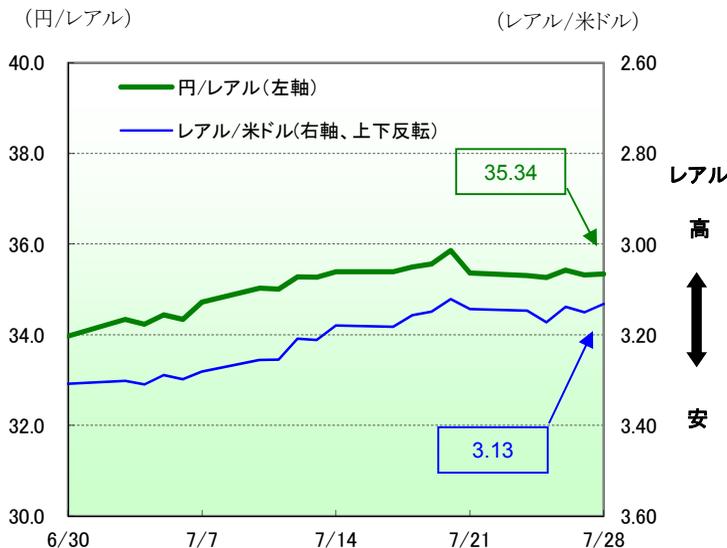
### 【2】今週の見通し

今週は、議会下院において、大統領の汚職疑惑についての裁判を開始するかどうかの投票が予定されています。投票の結果、裁判の開始が回避されたとしても、大統領は他の容疑で再び起訴される可能性が高いとみられています。

こうした状況では、テメル大統領の信認が低下し、連立政権内部の政党が政権を離脱する動きが強まる恐れや、社会保障改革法案の審議・採決が先送りされる懸念が高まります。政府や議会が改革を進める意志は強いとみられるものの、政局の動きや、それを踏まえた今後の財政再建の行方を注視していく必要があると考えています。

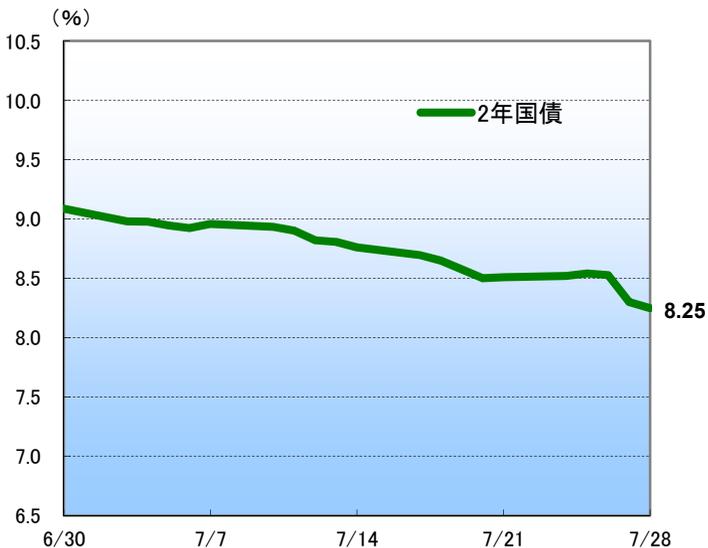
政府や議会が社会保障改革などの構造改革を着実に進める場合は、ブラジル経済に対する信認改善や利下げによる景気回復と相まって、ブラジル・レアルの下支えになると期待されます。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2017年6月30日～2017年7月28日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】(2017年6月30日～2017年7月28日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>